

熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第1報] 令和2年(2020年)3月31日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

世界的な大流行が加速する中、国内では都心部を中心に感染者が急増し、中でも市中感染が濃厚な感染者が増加しており、特に東京都では爆発的な感染拡大が危惧されている。

熊本市では、2月21日～25日の間に4例の感染者が確認され、3月19日に5例目、25日には6例目となる市中感染が濃厚な感染者が確認された。その後、6例目の感染者が滞在されていた温浴施設を利用された方などから3例が確認され、さらには29日には市中感染が濃厚な10例目、翌30日には10例目の感染者が経営する会社の従業員から1例、親族から1例が確認された。

これで本市での感染者は計12例となり、このような市中感染が増加していった場合、爆発的な感染拡大に伴う大規模な流行につながる可能性があり、最大限の警戒を行う必要がある。

前回		今回	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
—	—	レベル3 警報	拡大

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置づくか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	国の地域類型	具体的な対策例	拡大傾向	収束傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	1 感染状況が拡大傾向にある地域	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上		レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	2 感染状況が収束に向かい始めている地域並びに一定程度に収まっている地域	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	3 感染状況が確認されていない地域	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない		・通常の感染症予防活動		

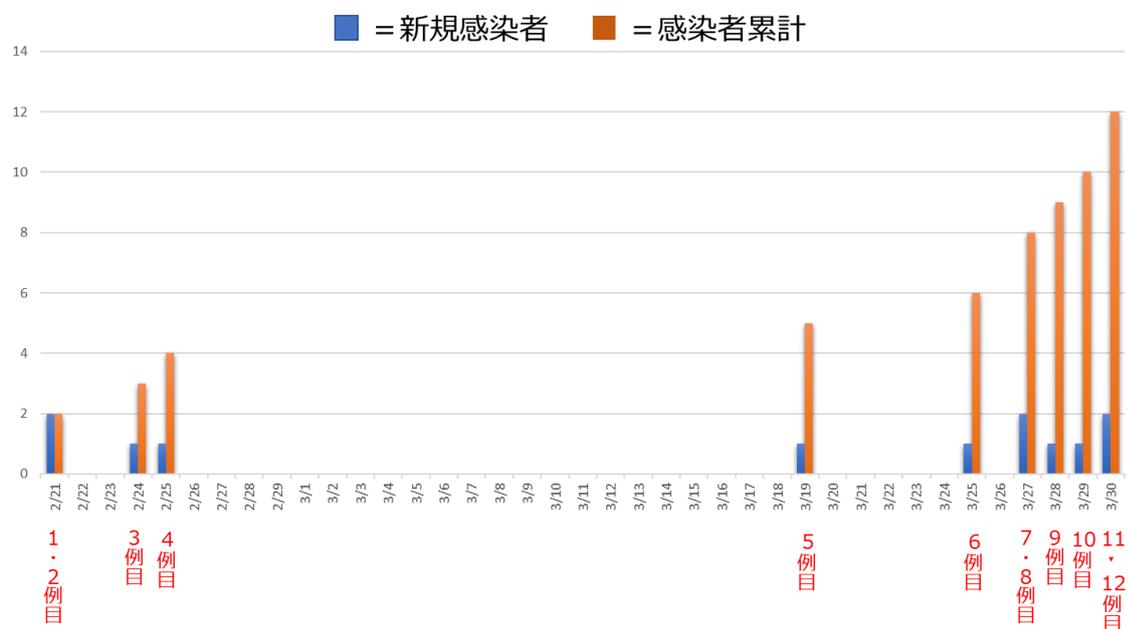
※「リンク無し感染者」とは、感染源となる感染者が特定できないもの。

2 患者発生状況

新型コロナウイルス感染症患者発生数：12例（3月31日15時現在）

	公表日	患者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	
2	2/21	50歳代 男性 会社員	患者1の父
3	2/24	50歳代 男性 会社員	患者2の接触者
4	2/25	60歳代 女性 会社員	患者1の母
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	患者7の配偶者
10	3/29	50歳代 男性 自営業	
11	3/30	50歳代 女性 会社員	患者10の接触者
12	3/30	70歳代 女性 確認中	患者10の接触者

[熊本市における新型コロナウイルス感染症患者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第2報] 令和2年(2020年)4月8日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

世界的な大流行が加速する中、国内では都心部を中心に感染者が急増し、中でも市中感染が濃厚な感染者が増加しており、政府は、4月7日に東京、埼玉、千葉、神奈川県、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に新型インフルエンザ等特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を発出した。

熊本市では、3月25日の6例目となる感染者が確認されて以降、立て続けに患者が発生し、現在17例となっている。

先週(3/31~4/6)は、新規感染者が4名、リンク無し感染者2名が確認され、先々週に引き続きレベル3警報の基準を上回っている。

このような状況から判断すると、先週と同じく感染拡大傾向は続いており、本市においては、レベル3警報を維持し、最大限の警戒を行う必要がある。

前回(3/31発表)		今回(4/8発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3警報	拡大傾向	レベル3警報	拡大傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化 ↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除	↑ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除 ↓
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

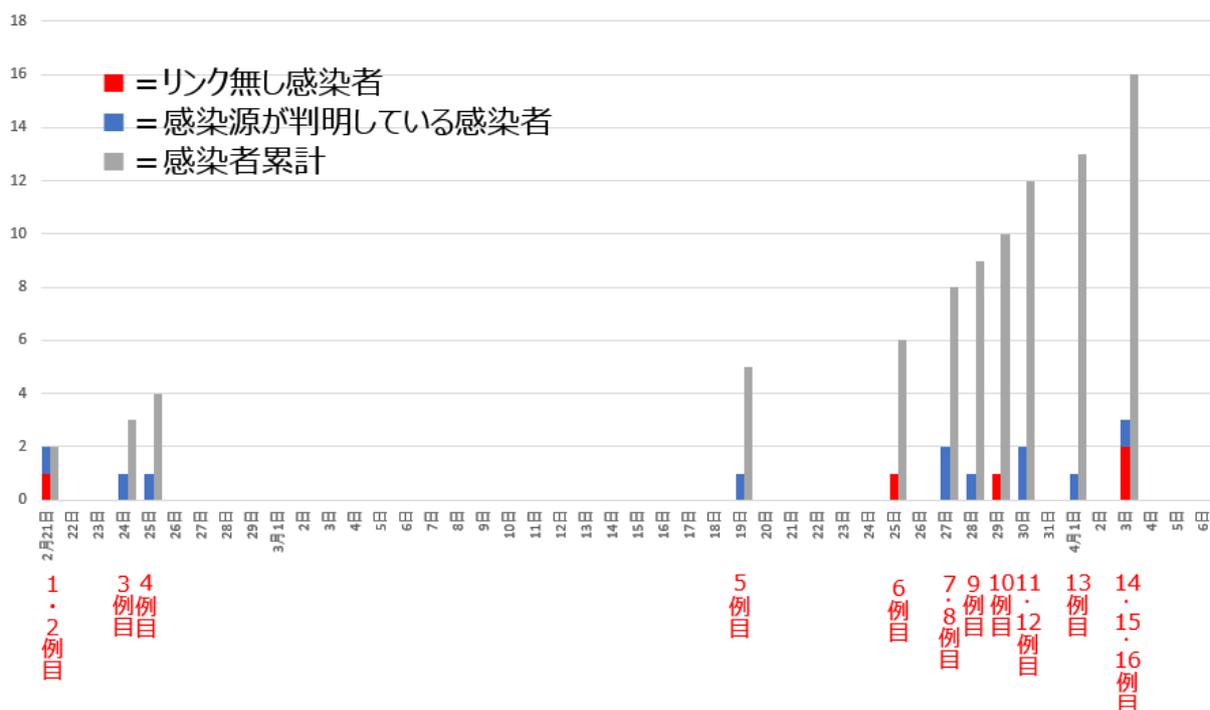
※「リンク無し感染者」とは、感染源となる感染者が特定できないもの。

2 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：16例（4月6日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 確認中	
13	4/1	70歳代 男性 不明	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 確認中	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

〔第3報〕 令和2年（2020年）4月15日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

政府は、4月7日に東京、埼玉、千葉、神奈川、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に新型インフルエンザ等特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を発出したが、大都市圏のみならず全国的に感染拡大の勢いが衰えず、感染者が急増している。

熊本県では、現時点で31例が確認され、中でも熊本市では、3月25日の6例目となる感染者が確認されて以降、立て続けに患者が発生し、24例となっている。

先週（4/7～4/13）は、リンク無し感染者3名、新規感染者6名が確認され、引き続きレベル3警報の基準にある。

このような状況から判断すると、先週と同じく感染拡大傾向は続いており、レベル3警報を維持し、最大限の警戒を行う必要がある。

前回（4/8発表）		今回（4/15発表）	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3警報	拡大傾向	レベル3警報	拡大傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

〔熊本市のリスクレベルと判断基準〕

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

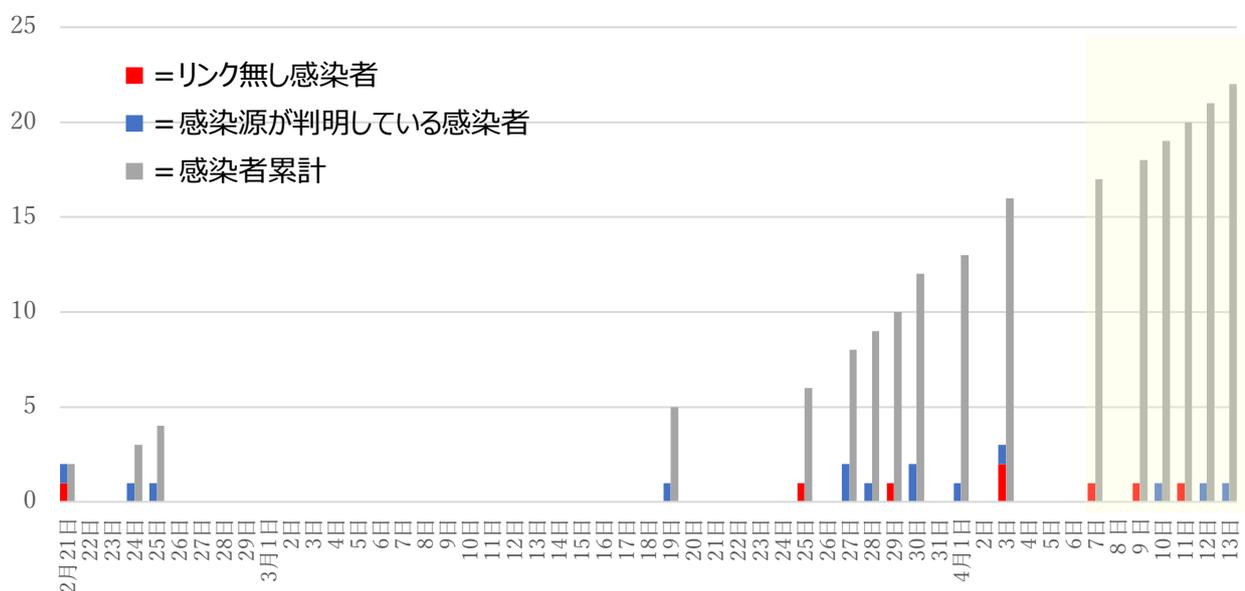
※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

2 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：22例（4月13日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 不明	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

〔第4報〕 令和2年（2020年）4月22日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

世界的な大流行が加速する中、国内でも全国的に感染者が急増しており、政府は、今月16日、東京などの7都府県に加え、全都道府県を対象に改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を発出した。

熊本県では、現時点で42例が確認され、中でも熊本市では、3月末以降立て続けに患者が発生し、34例となっている。先週（4/14～4/20）は、リンク無し感染者2名、新規感染者は、本市初の二桁となる11名が確認された。特に、新規感染者は先々週から急増しており、県内初となる院内感染の可能性のある事例が発生するなど、さらなる感染拡大につながるおそれがある。

このような状況から判断すると、引き続きレベル3警報の基準にあるものの、レベル4特別警報に極めて近い瀬戸際の状況になっており、引き続き、人と人との接触機会を可能な限り低減させることを基本に、最大限の警戒を行う必要がある。

前回（4/15発表）		今回（4/22発表）	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3警報	拡大傾向	レベル3+警報	拡大傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※市民にレベル4に近い現状をご理解いただくため、「レベル3+」と表現する。

〔熊本市のリスクレベルと判断基準〕

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント

(4月20日現在)

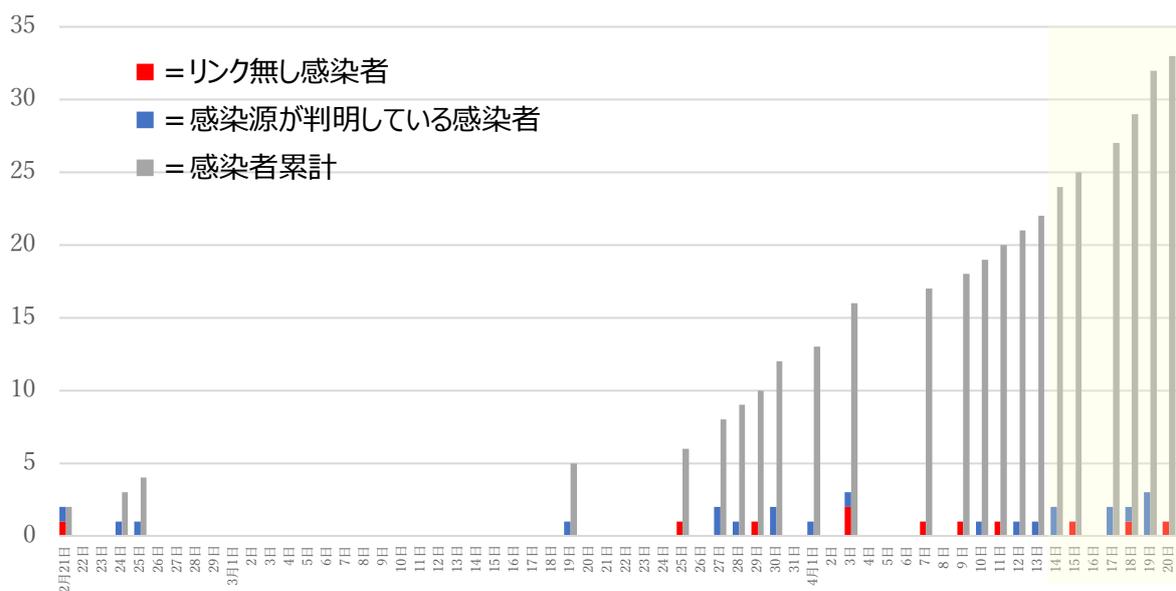
- 熊本県では、現時点で41例が確認され、中でも熊本市では、3月末以降立て続けに患者が発生し、33例となっている。そのうち、先週(4/14～4/20)は、リンク無し感染者3名、新規感染者11名が確認されている。
- 特に、新規感染者は、先々週の6人から10人へと1.5倍以上に急増しており、このまま推移すれば、来週には今週の2倍以上に増大する可能性がある。
- 加えて、県内初となる院内感染の可能性のある事例が発生しており、他の医療機関でもいつ発生してもおかしくない状況にあり、他県の事例と同じく医療提供体制が逼迫することも懸念される。
- このような状況から判断すると、本市は、レベル3警報の基準にあるものの、レベル4特別警報に極めて近い瀬戸際の状況になっていると判断される。
- 熊本市では、3月25日以降、外出自粛等の要請を段階的に強めてきたが、現時点では、新規感染者の減少は見られず、十分な市民の行動変容の効果が表れていないと言わざるを得ない。
- まさに今が、これからの感染拡大を左右する重大局面であり、更に危機意識を高め、市民の不要不急の外出自粛、特に、繁華街の接客を伴う飲食店等への外出自粛を徹底するとともに、事業者による営業時間の短縮など事業活動の縮小を積極的に行っていくべきである。
- また、今後のゴールデンウィークを控え、旅行や帰省等による地域間の往来をしないよう呼び掛けるなど、人と人との接触機会を可能な限り低減させる必要がある。
- 学校等についても、しばらくは感染拡大傾向期が継続すると見込まれることから、児童生徒等への感染リスクを低減させるため、その再開時期を慎重に見極める必要がある。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：33例（4月20日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 不明	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

〔第5報〕 令和2年（2020年）4月28日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、今月16日に全都道府県を対象に改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発出されたが、その後も感染者数の増加は衰えていない。

熊本県では、現時点で47例が確認され、中でも熊本市では、3月末以降急増し、39例となっている。先週（4/21～4/27）は、感染源が不明なリンク無し感染者2名、新規感染者6名が確認され、先々週から新規感染者数は、減少したものの、依然として高い水準で推移しており、感染の拡大傾向は続いている。

現下のリスクレベルは、レベル3+警報の水準にあるものの、引き続きレベル4特別警報に極めて近い瀬戸際の状況は続いております、加えて、5月の大型連休を控え、感染拡大が加速する恐れがあることから、最大限の警戒を行い、市内外の移動や人と人との接触機会を可能な限り低減させることが必要である。

前回（4/22発表）		今回（4/28発表）	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3+ 警報	拡大傾向	レベル3+ 警報	拡大傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※市民にレベル4に近い現状をご理解いただくため、「レベル3+」と表現する。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化 ↓	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント

(4月28日現在)

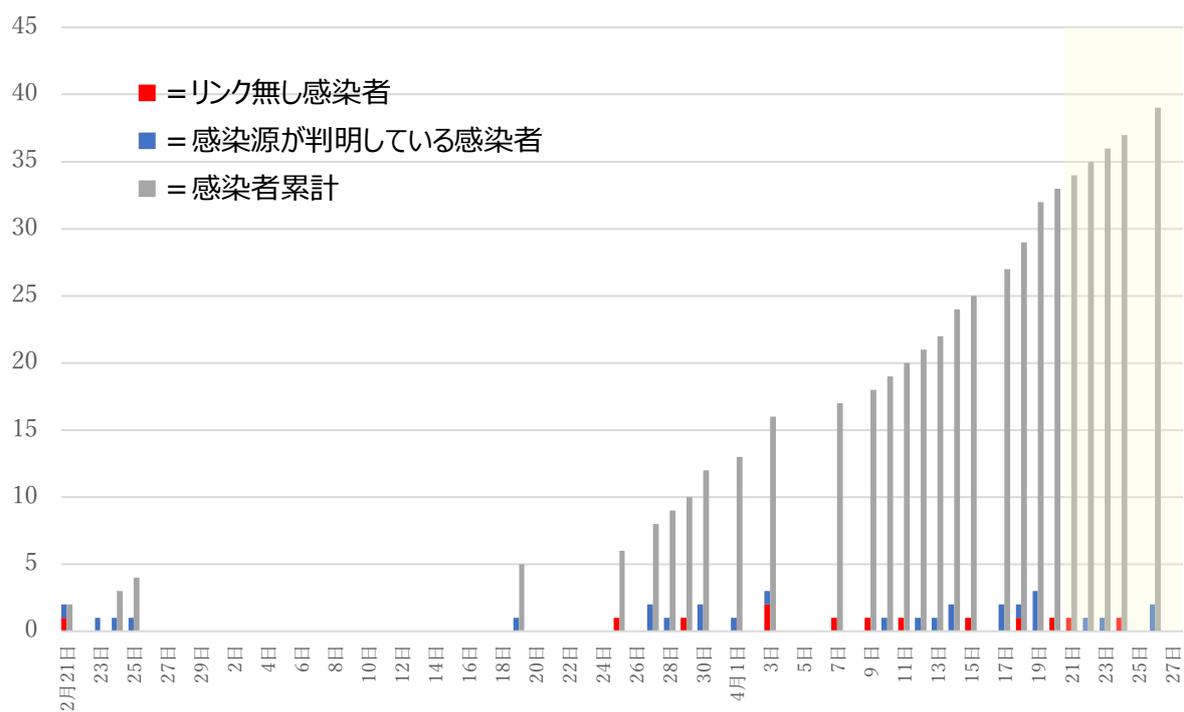
- 熊本県では、4月27日時点で47例が確認され、中でも熊本市では、3月25日以降立て続けに患者が発生、現在、39例が確認されており、先週(4/21から4/27)は、リンク無し感染者2名、新規感染者6名が確認されている。
- 新規感染者は、先々週の11人から6人へと減少しているが、依然として高い水準で推移するなど感染の拡大傾向は続いており、さらに一旦回復・退院したにも関わらず、再度陽性となる感染者も出ているなど、予断を許さない状況である。
- このような状況から判断すると、熊本市は、引き続きレベル3プラスで警報の基準にあるものの、レベル4特別警報に極めて近い瀬戸際の状況が続いていると判断される。
- 先週も市長に申し伝えたように、明日からのゴールデンウィーク中の人の往来をどう封じ込めることができるかが、今後の感染拡大を大きく左右する重要なポイントとなる。
- そのためには、県民・市民一人ひとりの行動にかかっており、このゴールデンウィーク期間中において、不要不急の外出や3密となる場所を避け、極力在宅で過ごすなど、市民と行政が一体となり、一層の危機感を持って取り組むことが不可欠である。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：39例（4月27日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第6報] 令和2年(2020年)5月6日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

国内の新規感染者数は減少傾向に転じているが、減少のスピードは緩やかで警戒を緩めることはできないとし、国は「緊急事態宣言」を今月末まで延長した。

熊本県では、現時点で47例が確認され、中でも本市では3月末以降急増し39例となり、先月中旬(4/14~4/20)の新規感染者数(11例)をピークに拡大傾向が続いてきた。その後の新規感染者数は、4/21~4/27が6例、先週4/28~5/4が0例と縮小傾向にあるものの、ウイルスの潜伏期間等を考慮すると、2週間程度の経過観察が必要であり、ここで対策を緩めれば感染が再び拡大する恐れがある。

現下のリスクレベルは、レベル4特別警報に極めて近い瀬戸際の状況からは脱しているものの、少なくともあと1週間は経過を観察するため、上から2つ目のレベル3警報を維持し、引き続き警戒を緩めず、人と人との接触機会を可能な限り低減させることが必要である。

前回(4/28発表)		今回(5/6発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3+ 警報	拡大傾向	レベル3 警報	縮小傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※市民にレベル4に近い現状をご理解いただくため、「レベル3+」と表現する。

※本市のレベル3警報は熊本県の地域区分「感染拡大傾向期」に相当

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※現状を踏まえ、1週間毎にリスクレベルを総合的に判断する。なお、レベルを下げる場合は、遡って2週間程度の経過を見て同様に判断する。

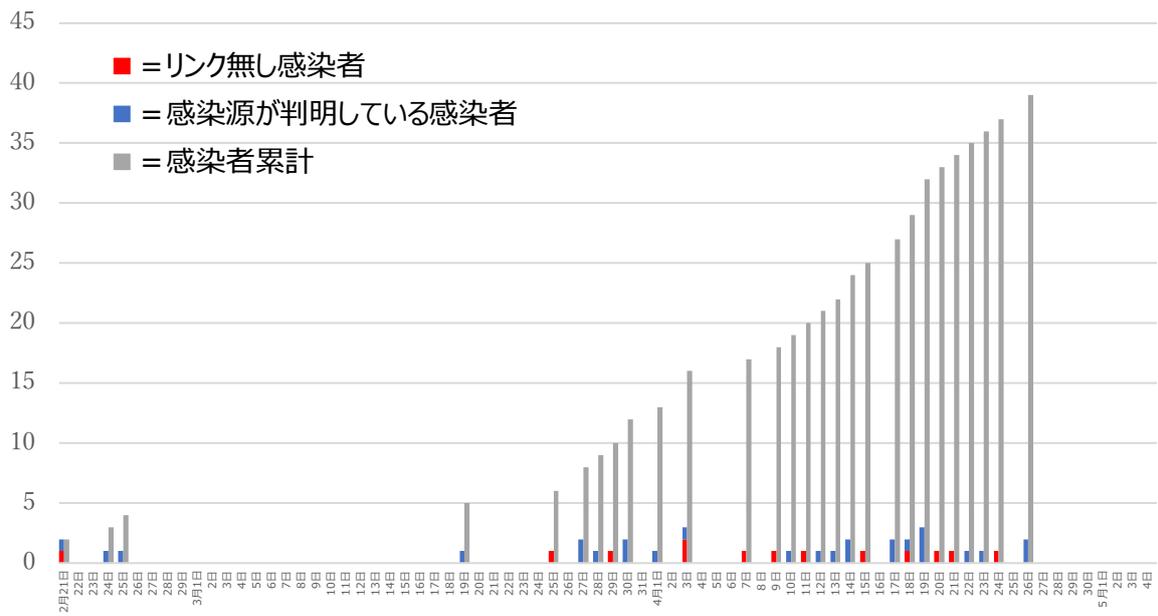
※感染拡大リスクが高いとは、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件が同時に重なる場所。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：39例（5月4日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

〔第7報〕 令和2年（2020年）5月13日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

国内の新規感染者数は、累積で1万5千人に至っているが、直近では100人を下回るようになっており減少傾向にある。

熊本県では、現時点で48例、そのうち本市は40例が確認され、新規感染者数は、4/14～4/20の11例をピークに縮小傾向にあり、特に4月27日から連続11日間新規感染者の発生がなかった。

先週（5月5日～11日）は、5月8日に12日ぶりに感染者が確認されたものの、新規感染者が1名のみで、また、リンクなし感染者は出ておらず、2週連続で「レベル3警報」の水準を下回ったため、リスクレベルを一段階引き下げ「レベル2警戒」とする。

新規感染者数が限定的になっても、再び感染が拡大する可能性があるため、引き続き警戒を緩めず「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保すること、接触機会を可能な限り削減することなど感染対策を継続していく必要がある。

前回（5/6発表）		今回（5/13発表）	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル3警報	縮小傾向	レベル2警戒	縮小傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※本市のレベル2警戒は、熊本県の地域区分「感染確認地域」に相当。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化 ↓	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※ レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※ 感染拡大リスクが高いとは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件が同時に重なる場所。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月11日現在)

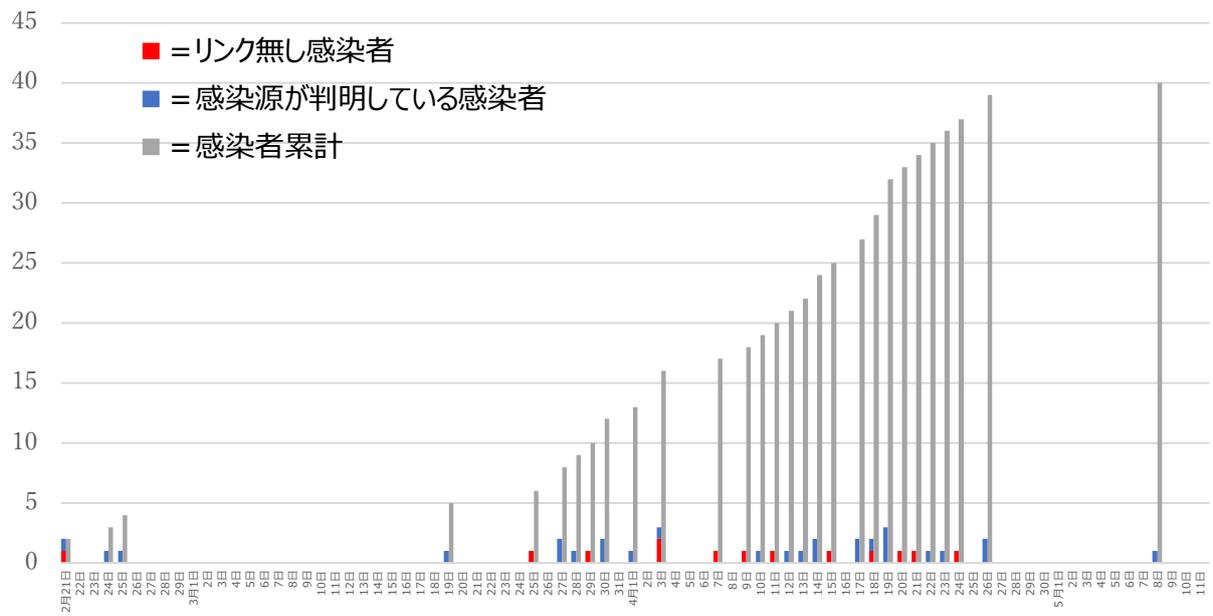
- 熊本県では、5月11日時点で48例が確認、中でも熊本市では40例が確認されており、新規感染者数は、4/14～4/20の11例をピークに、4月27日以降は5月7日まで新たな感染者が確認されないなど、減少傾向にある。
- このことは、これまでの市民の外出自粛や営業自粛等の成果が一定程度表れていると考えられる。
- そうした状況を総合的に判断すると、リスクレベルとしては、2週連続で「レベル3警報」の水準を下回っており、一段階引き下げ「レベル2警戒」とすることが妥当である。
- しかしながら、先週(5/5～5/11)確認された新規感染者1例は、複数の感染例が確認された医療機関の従事者であった。さらに、5月7日には営業自粛が一部緩和されたこともあり、依然として、院内感染や人の移動に伴い、感染者が再び急増してもおかしくない状況にある。
- 第2波の感染拡大も懸念されることから、リスクレベルが下がったことに安心せず、引き続き「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保すること、接触機会を可能な限り削減することなど、市民と行政が一体となって感染対策を継続していく必要がある。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：40例（5月11日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	
40	5/8	20歳代 男性 臨床検査技師	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第8報] 令和2年(2020年)5月20日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

国内の新規感染者数は、4月下旬以降減少傾向にあり、5月14日には、熊本県を含む39県で緊急事態宣言が解除された。

熊本県では、現時点で48例、そのうち本市では40例が確認されているが、4月27日から5月19日までの23日間で確認された新規感染者は、1例に留まっている。

先週(5月12日～18日)は、新規感染者は確認されておらず、縮小傾向は継続しているものの、レベルを下げる場合は2週間の発生状況を踏まえ判断することとしていることから、現下のリスクレベルとしては、レベル2警戒を維持することとする。

新型コロナウイルスは、当分の間、常に再流行のリスクが存在するため、気を緩めることなく、引き続き「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保すること、接触機会を可能な限り削減することなど、市民自らの判断のもと、感染予防に努めていく必要がある。

前回(5/13発表)		今回(5/20発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル2警戒	縮小傾向	レベル2警戒	縮小傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※本市のレベル2警戒は、熊本県の地域区分「感染確認地域」に相当。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※感染拡大リスクが高いとは、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件が同時に重なる場所。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月20日現在)

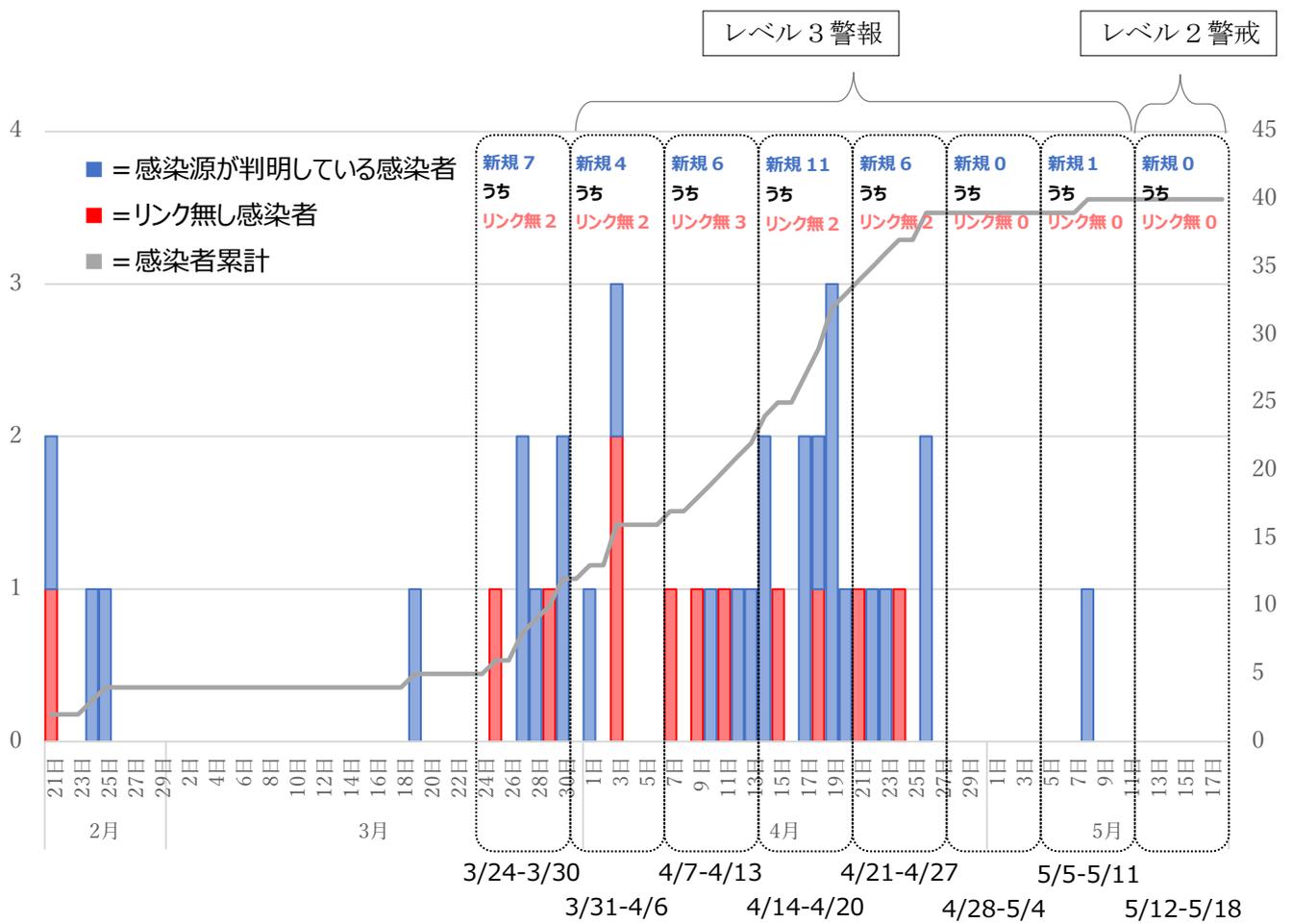
- 熊本市においては、3月下旬から4月中旬をピークとし、その後は縮小傾向にあり、このことは、ゴールデンウィーク期間を含め、これまでの市民の外出自粛や営業自粛等の成果が表れていると考えられる。
- 一方で、新型コロナウイルスは、韓国などの海外の事例にもあり、再流行のリスクが常に存在する。
- 本日をもって、県知事からの休業要請が解除されるが、事業者においては、県が示すチェックリスト等を用い、感染防止対策を徹底したうえで再開することが必要である。
- 市民においては、このチェックリストを使用していない、あるいは、掲示していない店舗への外出は控えるなど、市民自らの判断のもと、慎重な行動を心がけてもらいたい。
- この感染症は長丁場になる可能性があるが、引き続き気を緩めることなく、「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保することなど、国が示した「新しい生活様式」を取り入れながら、感染予防に努めていく必要がある。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：40例（5月18日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	
40	5/8	20歳代 男性 臨床検査技師	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

[第9報] 令和2年(2020年)5月27日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

国内の新規感染者数は、4月下旬以降減少傾向にあり、5月14日には熊本県を含む39県で、さらに25日には全国で緊急事態宣言が解除された。

熊本県では、現時点で48例、そのうち本市では40例が確認されているが、4月27日から5月26日までの1か月間で確認された新規感染者は、1例に留まっている。

先週(5月19日～25日)は、新規感染者は確認されておらず、2週連続で「レベル2警戒」の水準を下回ったため、リスクレベルを一段階引き下げ「レベル1注意」とする。

一方、5月25日に国が決定した基本的対処方針では、今後、「新しい生活様式」が社会経済全体に定着するまで、一定の移行期間を設け、外出の自粛等を段階的に緩和するよう示された。

このことを踏まえ、本市としても、一気に対策を緩めるのではなく、段階的な再開を検討していくとともに、引き続き、市民の皆様とともに「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保することなど、「新しい生活様式」を取り入れながら、感染予防に努めていく必要がある。

前回(5/20発表)		今回(5/27発表)	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル2警戒	縮小傾向	レベル1注意	縮小傾向

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※本市のレベル1注意は、熊本県の地域区分「感染未確認地域」に相当。

[熊本市のリスクレベルと判断基準]

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化 ↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除	↑ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除 ↓
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※ レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※ 感染拡大リスクが高いとは、①密閉空間(換気の悪い密閉空間である)、②密集場所(多くの人が密集している)、③密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)という3つの条件が同時に重なる場所。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (5月25日現在)

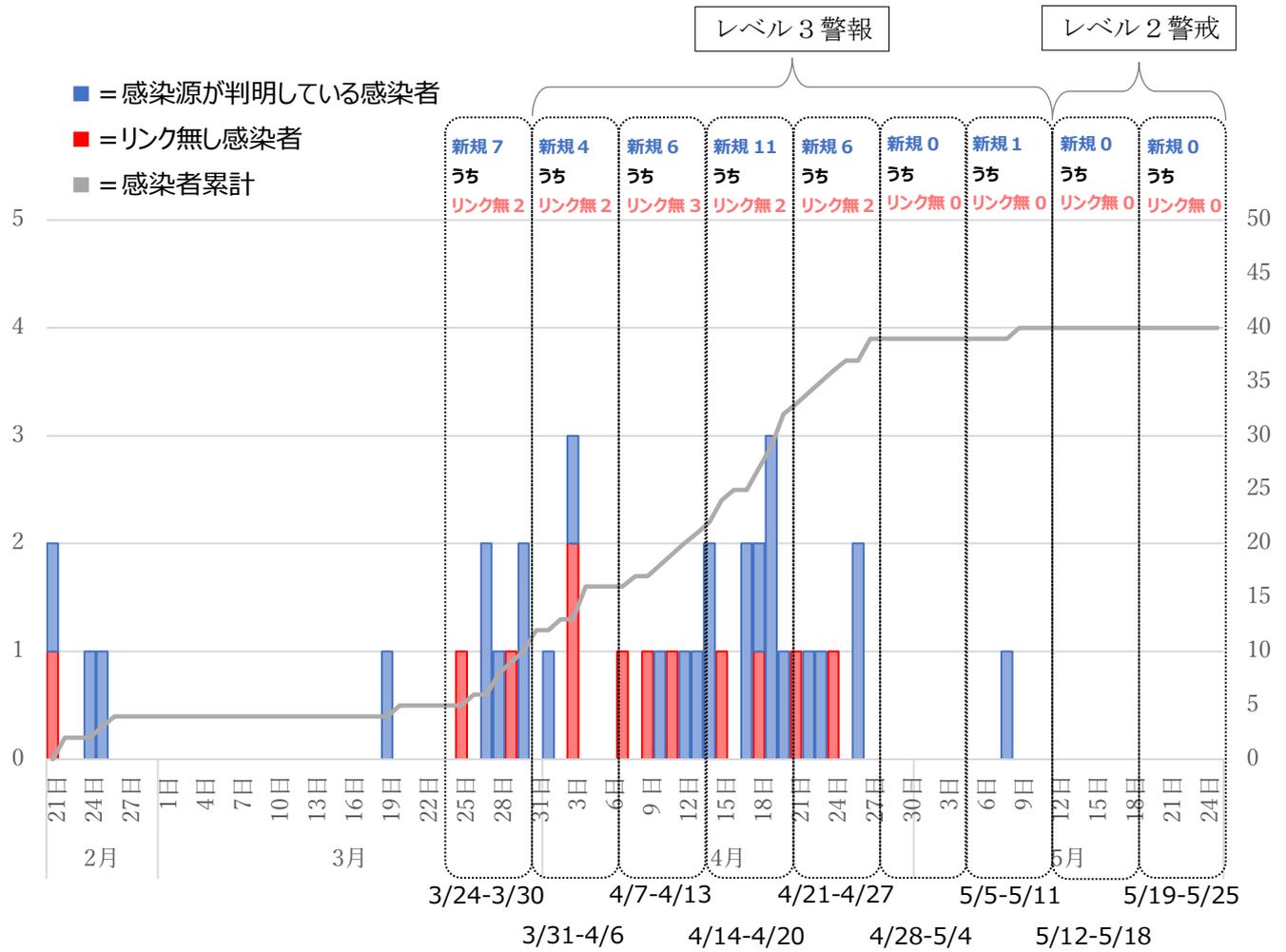
- 熊本市の感染状況においては、4月末以降一貫して縮小傾向にあり、このことは、県による外出自粛及び営業自粛の要請解除後も、市民一人ひとりが感染防止対策に取り組んだ成果の表れであると考えられる。
- 先週、先々週と2週連続で「レベル2警戒」の水準を下回ったため、リスクレベルを一段階引き下げ「レベル1注意」とすることは妥当である考える。
- 一方で、5月25日に国から示された基本的対処方針では、今後、持続的な対策が必要になると見込まれることを踏まえ、「新しい生活様式」が社会経済全体に定着するまで、一定の移行期間を設けることとされている。
- 具体的には、延長後の緊急事態宣言の期間であった5月末までは、これまでの取組を基本的に継続し、その後、概ね3週間ごとに地域の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、外出の自粛、催物（イベント等）の開催制限、施設の使用制限の要請等を段階的に緩和する、と示されている。
- このことを踏まえ、「レベル1」になったからといって一気に対策を緩めるのではなく、これまでの閉館や中止、延期していた市有施設や市民サービス、イベント等については、感染対策を徹底したうえで、段階的な再開を検討していくべきである。
- また、市民の皆様は、緊急事態宣言が全面解除になったことに安心するのではなく、引き続き、「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保することなど、「新しい生活様式」を取り入れながら、感染予防に努めていく必要がある。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：40例（5月25日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	
40	5/8	20歳代 男性 臨床検査技師	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]



熊本市における新型コロナウイルス感染症に関する概況

〔第10報〕 令和2年（2020年）6月3日現在

この概況は、本市における新型コロナウイルスの発生状況を分析し、現在のリスクレベル及び感染拡大の傾向を判断したものである。

1 熊本市における現状認識

国内の新規感染者数は、4月下旬以降減少傾向にあり、5月25日には全国で緊急事態宣言が解除された。

熊本県では、現時点で48例、そのうち本市では40例が確認されているが、5月9日以降、新規感染者は確認されておらず、先週（5/26～6/1）も同様であるため、前回に引き続き、「レベル1注意」を維持する。

一方で、他都市の状況を踏まえ、本市においても、感染症の再流行を防ぐため、引き続き「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保することなど、「新しい生活様式」を取り入れながら、感染予防に努めていく必要がある。

前回（5/27発表）		今回（6/3発表）	
リスクレベル	傾向	リスクレベル	傾向
レベル1注意	縮小傾向	レベル1注意	維持

※リスクレベルは、「特別警報」、「警報」、「警戒」、「注意」、「正常」の5区分で判断する。

※傾向は、「拡大」、「維持」、「縮小」の3区分で判断する。

※本市のレベル1注意は、熊本県の地域区分「感染未確認地域」に相当。

〔熊本市のリスクレベルと判断基準〕

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付くか、また、具体的な対策は総合的に判断する。

リスクレベル	本市の判断基準	具体的な対策例	拡大傾向	縮小傾向
レベル4 特別警報	市内で ①リンク無し感染者 4名以上 かつ ②新規感染者 5名以上	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・県外等への移動自粛を要請 ・全ての催事等の臨時休止要請	↑ 感染拡大リスクの高いものから対策を強化	↓ 感染拡大リスクの低いものから対策を解除
レベル3 警報	市内で ①リンク無し感染者 2名以上 かつ ②新規感染者 3名以上	レベル2の対策に加え ・週末等の不要不急の外出自粛要請 ・全ての催事等の自粛要請		
レベル2 警戒	市内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	レベル1の対策に加え ・感染拡大リスクを高める3つの条件のいずれかに該当する催事の自粛及び不特定多数が利用する市有施設の閉館		
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②市内では新規感染者が未発生	・3つの条件が重なる感染拡大リスクが高い活動や催事において、まん延防止対策を行う ・手洗いや相談窓口、行動変容に向けた広報啓発		
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動		

※ 「リンク無し感染者」とは、感染源が特定できないもの。

※ レベルを上げる場合は、週ごとに総合的に判断し、レベルを下げる場合は、前週、前々週の発生状況を踏まえ、同様に判断する。

※ 感染拡大リスクが高いとは、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件が同時に重なる場所。

2 熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (6月1日現在)

- 熊本市の感染状況においては、5月9日以降、3週間にわたり新規感染が確認されておらず、このことは、県による外出自粛及び営業自粛の要請解除後も、市民一人ひとりが感染防止対策に取り組んでいる成果の表れであると考えられる。
- このような状況から、リスクレベルは前回に引き続き「レベル1注意」を維持する。
- 一方で、隣接する福岡県の北九州市においては、同じく3週間以上感染者が確認されていなかったにも関わらず、5月23日以降徐々に感染者が増加し、小学校内でクラスターが発生するなど、第2波と思われる感染拡大が見られる。
- こうした他都市の状況を踏まえ、熊本市においても、感染症の再流行を防ぐため、引き続き「3つの密」を避けること、手洗いや身体的距離を確保することなど、「新しい生活様式」を取り入れながら、感染予防に努めていく必要がある。

3 感染者発生状況

新型コロナウイルス感染症発生数：40例（6月1日現在）

	公表日	感染者概要	備考
1	2/21	20歳代 女性 看護師	リンク無し
2	2/21	50歳代 男性 会社員	
3	2/24	50歳代 男性 会社員	
4	2/25	60歳代 女性 会社員	
5	3/19	20歳代 女性 無職	
6	3/25	70歳代 男性 無職	リンク無し
7	3/27	60歳代 男性 自営業	
8	3/27	40歳代 男性 会社員	
9	3/28	60歳代 女性 自営業	
10	3/29	50歳代 男性 自営業	リンク無し
11	3/30	50歳代 女性 会社員	
12	3/30	70歳代 女性 役員	
13	4/1	70歳代 男性 自営業	
14	4/3	50歳代 女性 会社員	
15	4/3	80歳代 女性 無職	リンク無し
16	4/3	20歳代 女性 学生	リンク無し
17	4/7	50歳代 男性 自衛隊員	リンク無し
18	4/9	30歳代 男性 会社員	リンク無し
19	4/10	20歳代 男性 会社役員	
20	4/11	70歳代 男性 医師	リンク無し
21	4/12	70歳代 女性 無職	
22	4/13	20歳代 女性 飲食店従業員	
23	4/14	40歳代 男性 飲食店従業員	
24	4/14	30歳代 男性 会社員	
25	4/15	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
26	4/17	30歳代 男性 会社経営	
27	4/17	20歳代 女性 非公表	
28	4/18	40歳代 女性 看護師	
29	4/18	70歳代 男性 無職	リンク無し
30	4/19	70歳代 女性 無職	
31	4/19	40歳代 男性 自営業	
32	4/19	30歳代 女性 看護師	
33	4/20	60歳代 男性 タクシー運転手	
34	4/21	60歳代 男性 タクシー運転手	リンク無し
35	4/22	60歳代 女性 無職	
36	4/23	50歳代 女性 臨床検査技師	
37	4/24	40歳代 男性 自営業	リンク無し
38	4/26	50歳代 女性 会社員	
39(16)	4/26	20歳代 女性 学生	
40	5/8	20歳代 男性 臨床検査技師	

[熊本市における新型コロナウイルス感染者発生状況]

